



fisuel INFO

FISUEL NEWSLETTER

International Federation for the Safety of Electricity Users

論説



FISUELの新しい戦略的方針

2012年5月にアビジャン、2012年11月にサンパウロで開催された2つの行事は、年次総会と国際フォーラムという会議で、我々の新しい戦略的計画を支え、説明する機会となりました。

2002～2012年の10年間の活動は、私たちの中で、信頼の絆と共同の努力を徐々に築いてきました。

これまでの経験、フィードバック、能力、そして電気保安の新しいフェーズを築く意思を持つことによって、礎は極めてしっかりしたものとなりました。

この戦略的計画は、3つの主要項目に整理できます。

- 一電気設備(設置及びその拡張、製品、関係組織)の完全で持続的な保安を再確認し保証する展望と共に、我々の組織の目的を拡大していきます。
- 一我々の組織及び活動は、全ての者に対して、一方でデータベース(技術、模範的実例、専門家、統計等)の強化を視野に持って参加し、他方で、依然としてFISUELに加盟していない国での活動を推進することを可能としなければなりません。
- 一電気保安の分野において、世界のリーダーとしての立場を固めることが我々の志です。5年間で倍増という野心的な予算を組み、会員数を60に増やして連盟をより世界的な組織とすることです。

これらは、言い換えれば、FISUELに新鮮な刺激を与えるものです。理事会メンバー及び私個人として、新しい2013年における皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。

会長 パトリシア・イェルフィーノ

アディオウマ・ディオネ前副会長からのメッセージ



FISUELの友人たちへ: 連盟の理事会で表明したとおり、2012年12月31日付けで辞任することが認められました。また、PROQUELECの事務局長とFISUELの副会長も辞任します。

FISUELを構成する偉大な家族を去ることは大変悲しいことで、その友人たちは全て連盟の発展と拡大に非常に熱心でした。みなさんと共にした素晴らしい時間は、真心のこもったもの、あるいは熱心な仕事で、世界の隅々で行われ、それがFISUELを有名にしました。我々の成し遂げたことは大きく、この若い連盟に必要な推進力を提供してきました。私の心からの感謝の気持ちを皆様に、そして特にマネージャーの方々にお伝えします。忘れられない時を過ごすことができました。全てのことに感謝します。FISUELが永く続きますように。

活動会員



代表者のジム・スペアーズ氏が理事会メンバーだったNICEICから2012年3月にFISUEL退会申請があり、会長により了承されました。NICEICの上位組織のESC(電気保安評議会)としてFISUELに参加することになります。NICEICは、FISUELにより電気保安が推進され、望ましい措置が促進されるよう望んでいます。私たちは、理事会でのジム・スペアーズ氏の貢献に心から感謝します。



彼の後は、2013年初から、FESIA(電気保安協会全国連絡会)会長の中村秋夫氏に引き継がれます。中村氏の任期は、ジム・スペアーズ氏の残り任期、つまり2014年までとなります。彼の就任は、ニューデリーで開催される予定の2013年次総会で承認を受けることが条件になっています。



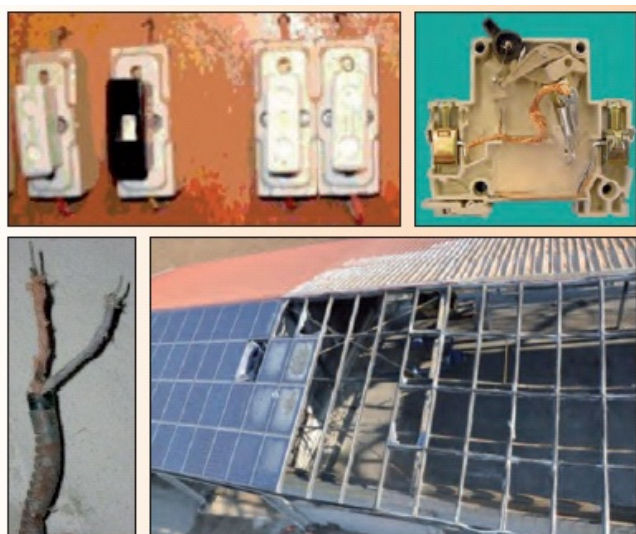
2012戦略的計画

既に設立10年となったFISUELは2002年に設立され、電気の需要家の安全という観点から、電気設備の管理という活動をその基盤としている。

この10年間で、多くのコミュニケを発表し、また出発点としてデータベースの中の豊富な情報を使用してきた。数多くのやり取りは、FISUELインフォメーション、ニュースレター、リーフレット、ハンドブック、議論や質問となった。そして、それらはウェブサイトwww.fisuel.orgに会員全員に情報提供されている。

FISUELはまたその地位を確立し、世界中で成長してきた。2012年には21ヶ国を代表する34機関を会員として擁するまでになった。これまでの10年でFISUELは、3つのインセンティブが働く、徹底して試された活動を可能とした。第一は、交流、相互扶助や友好的な共存といった価値の共有であり、第二は、実用的な知識の実践である。そして、第三は、フォーラム、総会、ワーキンググループといった様々な活動を行い、我々の組織として完璧を目指すことだ。

しかし、これまでの10年で、我々は世界情勢の変化に気づかされた。一日に日に電気が世界で益々重要な役割を持つようになる一方で、約70億人の人々の多くは未電化の状態にある。統計によれば、世界人口の20%はその状態にある。一我々のニーズは大幅に大きくなっているのに対して、電気設備はそれに応じて必ずしも改善されていない。欧州において、70%の住宅、つまり1億6千万戸の住宅は築40年以上のもので、これは電気設備に危険性がある可能性があり、それが、既設電気設備の状態改善のために政策を策定しなければならない理由になっている。



一不正競争の結果である製品(偽造品、不正な模造品、非適合品、危険な製品)は驚くほど増殖している。それらは世界で取引されているものの10~15%にも達し、一部地域では極めて高い比率に達している。それらを使用した結果は極めて深刻であり、電気の利用者を死の危

険にさらすことさえある。このことが、他でもない、我々がこの種の製品と戦わなければならない理由なのだ。

一同様に、電気設備や機器の老朽化が多くの火災を引き起こしており、結論的には、人と物の両方が最重要だということだ。フランスにおいて、住宅火災の約30%、つまり8万件の火災は電気設備に起因するもので、4000件の感電事故、100名の感電死亡が起きている。それゆえ、電気の保安の維持を、我々自身のために、保証、促進しなければならない。

以上のことから、我々は新たな戦略的計画を検討することとなり、その後、2012年5月にアビジャンで開催された総会において評決にかけられた。この新しい戦略的計画により、FISUELはその組織としての活動目的を拡大することとなった。我々の目標は、まず第一に、新しい設備と既存の設備の両方の電気需要家の安全、そして安全を持続させることにある。我々の願望は、電気保安に関して世界的な指標となることだ。我々の目的は、安全を保障するために、専門家、電気設備と機器のための基準、遵守と監視という3つの不可分の項目の全てを実行することだ。

本戦略的計画に基づく5つの作業モジュール

1. FISUELの組織化により世界の6地域の多くをカバーし、交流の活性化を図ること。
2. 情報の強化と収集を進め、良い通信メディアによって閲覧可能とすること。
3. 最新のものから既存のもの、標準化から遵守状況評価、設備管理から詐欺的商品との戦い、地方、郊外電化から革新技術(電気自動車や太陽電池)まで、FISUELの仕事を経営化、発展させ、良い実践例を収集・共有すること。
4. 関係者との関係強化・関係機関及び需要家への影響力を持ち、働きかけを行うこと。
5. FISUELが恒久的なチームを持つこと: 事務局長、事務員、ウェブ担当者...

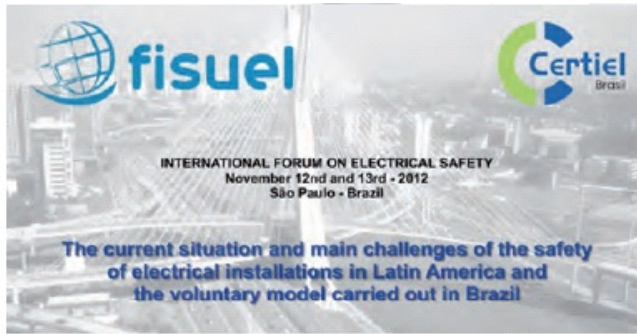
本戦略的計画の初期段階

- 電気保安関係の我々の規定の改定は、全ての者の責任である。新しい規定は、2013年5月にニューデリーで開催予定の総会で審議予定。
- データベースの改善により、FISUELへの信頼を高めること。
- 我々の組織のイメージを徐々に変え、またウェブサイトwww.fisuel.orgを豊富にすることによって情報交流を強化すること。
- 2012年から5年以内に予算倍増という大変意欲的な予算を活用すること。
- 活動的で構造化された組織を機動させること。”交流・融合”ワーキンググループを全ての地域に広げ、地域での活力ある協力を進める。

この計画は、我々の関係強化の機会を提供するもので、電気保安あるいは危険性の進行を止めるためのデータベースを強化するものだ。最終的に、FISUELが電気のトータル安全性を全ての人々に提供することを可能とする機関のひとつとなるのだ。

“安全を最大限高めよう”

2012年11月12、13日開催 ブラジル・サンパウロ国際フォーラム



FISUELが毎年開催している国際フォーラムが、2012年11月12、13日にブラジルのサンパウロで、ブラジル電気設備認証協会(Certiel BRASIL)との共催で開かれた。

本フォーラムの目的は、「ラテンアメリカにおける電気設備の安全性に関する現状と主要な挑戦及びブラジルでのボランティアモデル」だった。ブラジルにおける電気事情が明らかになるとともに、アルゼンチンで導入されたスラム地区用の革新的な取組が紹介された。また、ポルトガルでの電気設備管理プロセス及び日本の定期点検制度も発表された。さらに、FISUELが2002年の設立以来10年間にわたって築いた極めて高い成果と新しい戦略の方針を共有・前進させる絶好な機会となった。

アルゼンチン、ベルギー、ブラジル、カメルーン、韓国、コートジボワール、フランス、日本、メキシコ、ポルトガル及びセネガルの計11ヶ国の代表が参加し、参加者及び発表の全てが我々のフォーラムの成功に貢献した。

本フォーラムで唯一残念だったことは、アルゼンチンの提案により、ラテンアメリカでの電気保安に関する経験交流の素晴らしい機会だったにもかかわらず、同地域内からの参加が少なかったことだ。

それでも、運営の質の高さ、暖かいもてなし、素晴らしい発表、及び参加者が共有することができた経験によって実際成功だったと言える。Certiel BRASILあるいは参加者のいずれが欠けても失敗だったかもしれない。FISUELは、Certiel BRASILからの支援と助けに対して、心から感謝する。

世界からの参加者は以下のとおり。

ABB, Abilux, Abinee, Abnt, Abracopel, Abradee, Abrinstal, Abroc, Aes Eletropaulo, Ance, APSE, Barreto Engenharia, Beghim, Certiel, Certiel Brasil, Cobei, Condumax, Corner Engenharia, Cyprium Consultoria, ECI, Engeteste, Fesia, Gbc Brasil, IEC, lee-Usp, Ilexcert, Inmetro, International Copper Association, Kesco, LBTP, Legrand, Lumière, Mdj Asses Engenharia, Miomega Engenharia, Oceba, Phelps Dodge, Procobre, Promotelec, Proquelec, Qualifio,



Target Engenharia, Technologie Zentrum, Schneider Electric, Shitsuke, Siemens, Sindicel, Sindinstalação, Spdm, Voltimum.

参加者による発表:

- FISUEL-組織の紹介
- 電気保安協会全国連絡会/日本-新設及び既設の電気設備の点検制度: 点検事例とその結果の要点
- APSE/アルゼンチン-貧困者向け住宅の電気設備の規制による安全
- CERTIEL/ポルトガル-起源と活動
- INMETRO/ブラジル-製品及び設備の認証に関するブラジルの状況
- Certiel BRASIL/ブラジル-ブラジルにおける3年間の電気設備の認定の結果



2012年5月アビジャン総会

Amédé Kouakou氏(コートジボワールLBTP)による総括



FISUEL会員LBTPへ感謝します

その活動の枠組みの中で、FISUELは2つの決められた会議、つまり総会とフォーラムを開催しています。その国際会議は会員加盟国で開催され、コートジボワールが2012年の総会開催を行うことが選定されるという栄誉を受け、フォーラムはブラジルで開催されることになりました。

また、電気保安に関する挑戦をさらに広げる観点から、FISUELの会員であるコートジボワールのLBTPは、関係機関の協力を得て、総会開催の機会に、「電気設備の安全性及び都市周辺地域とスラム街の電力網拡張」というテーマのミニ・フォーラムを開催しました。

そのセッションには、フランス、日本、ベルギー、アルゼンチン、セネガル、カメルーン、コンゴ、スイス、ベナン、ポルトガルといった様々な国の代表が出席され、そしてFISUELの事務局の出席も得ました。国内からは、コートジボワールの政策当局のトップ(大臣)が出席され、国内電気関係業界、海外の電気保安関係機関、需要家関係者、報道機関、そして電気保安に関心のある様々な人々の参加を得ました。



Patrick Achi経済インフラ大臣による協力企業のスタンド視察

総会前の2012年5月8日、FISUEL会員のアフリカ諸国がラウンドテーブルを開催し、アフリカの電気保安の報告書の準備とともに、経験の情報交換が行われました。そこで、次のような結論を得ました。

- ・市民保護の世界的な枠組みの中で、電気保安の重要性について、アフリカのほとんどの国において、最高指導者の一部は強く認識している。
- ・しかし、それら国々の多くは特段の法的・規制の枠組みを持たず、電気保安に関する問題の認知を保証する責任ある組織／団体を持っていない。
- ・それらの国々で、そのための対策は存在し、かなりの措置が実行されているものの、全体的には、特に標準化、業界の専門家の資格、電気保安がよそ事でないことを一般市民に理解してもらうこと等については、手つかずの状態にある。

2012年5月9日には、総会準備のためFISUELの理事会が開催され、技術的、資金的に成功したCIPREL火力発電所を訪問して準備作業の締めくくりとしました。

2012年5月10日の開会式において、LBTP所長 Amédé Kouakou博士、FISUEL会長 Patricia Yerfino女史、コートジボワール経済インフラ大臣 Patrik Achi氏の3方から其々挨拶がありました。挨拶の後、FISUEL及び、機器メーカー、建築・電気設備専門業者、全ての電力関連事業者といったLBTPの賛助パートナーの展示の見学が行われました。

- ・FISUELから、そのポリシーと10年間の活動の成果
- ・規制、電気設備の認証、遵守監督、電気的安全診断、紛争処理
- ・標準化、エネルギー効率、偽造品、配電網拡張に関連する問題など

これらの発表は特に議論の対象となり、次のように整理できます。

- 専門家だけでなく需要家も、電気保安のための挑戦に関して十分な情報を得、敏感になる必要があり、電気設備に関して適切な措置を実行する必要に気づくべき。
- FISUELはこの観点から次のような活動を実施している。
 - ・組織としての訪問
 - ・電気保安のための5つの最低要求事項の規定
 - ・3つのマニュアルの発行
 - ・電気事故調査の実施とウェブサイトの開設
 - ・世界の模範的実施例
- FISUELは、将来的に、世界的な電気保安専門家データベース構築を計画している。
- 標準化に関し、既に行われているが、不正行為の十分な摘発が必要：実行には相当な努力が必要。
- 偽造品、都市の乱開発、専門工事業者の不十分な質の問題は、特にアフリカにおいて、電気事故の危険を悪化させている。事故発生の場合、いくつかの紛争処理の制度が考案されてきたが改善が求められる。
- 大半の国では、それぞれ異なった解決策が実施あるいは検討されているが、特にアフリカにおいては、新規に適切な法的・制度的枠組みによってそのような取組が強化される必要がある。

理事会からの議題はそれぞれ承認され、閉会の辞が、コートジボワールの鉱山石油エネルギー省を代表してNoël Guetat局長からありました。



Sicable訪問時の写真

あなたの予定日

・2013年3月11日(月)、12日(火)、
パリ(フランス)

理事会

・2013年5月29日(水)～31日(金)、
ニューデリー(インド)

※その後リスボン(ポルトガル)に変更
年次大会



Fisuel Info is available
through the email.

21, rue Ampère 75017 PARIS
Tel. 33 (0) 1 56 79 50 10
Fax. 33 (0) 1 56 79 50 15
e-mail : fisuel@fisuel.org

日本語訳文責:電気保安協会全国連絡会